

親が変われば 子どもも変わる!!

「親の背を見て子は育つ」と言うとおり、親の生き方から子どもは学びます。親が口ではどんなに良いことを言っても、言っていることとやっていることが違うのでは、子どもの反発を招くのではないのでしょうか。親は、言動と態度で子どもに規範を示しましょう。



家庭でできること

おはよう!



あいさつを習慣づける

あいさつはコミュニケーションの第一歩です。家族の間でもきちんとあいさつをしましょう。

生活のリズムを整える

朝食を食べない子どもや、慢性的に睡眠が不足している子どもが増えています。基本的な生活のリズムを整えるよう心がけましょう。

子どもの話を真剣に聞く

何でも話し合える親子の信頼関係を築くには、親の聞く姿勢が大切です。忙しくても「後で」とは言わずに、子どもの言葉に真剣に耳を傾けましょう。

子どもを認める

自分を認めてもらえる居場所があることで、心が安定します。子どもを認めて伸ばしていきましょう。

時には厳しさも必要

してはいけないことや悪いことをしたときは、毅然とした態度で注意し、厳しく温かく見守りましょう。

子どもを守ろう ～ 知っておきたい危険 ～

携帯電話やインターネットの危険性

課金・自撮り被害・SNSを起因とするいじめなど、加害や被害が増加しています。家庭ではフィルタリング等を利用し、親子で話し合いながらルール作りをしましょう。

深夜外出は非行の第一歩

不規則な生活につながるばかりでなく、犯罪に巻き込まれる危険もあります。

薬物や脱法ハーブは「ダメ。ゼッタイ。」

薬物は一度使っても「乱用」です。依存性がありやめられなくなるばかりか、脳の萎縮や意識障害、幻覚・妄想などを引き起こし、心や体のみならず人生まで崩壊させます。また、最近は、脱法ハーブや合法ドラッグなどの名称で販売されているものがありますが、麻薬や覚せい剤、指定薬物の成分等を含むものもあり大変危険です。さらに、10代の市販薬のオーバードーズ(過量摂取)が急増しています。本来の薬の飲み方を守りましょう。

知っていますか?「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」

- ★深夜(夜11時から翌朝4時)に青少年を外出させないようにしましょう。 ※「青少年」:0歳~18歳未満
- ★青少年の飲酒・喫煙、家出など、非行や不良行為を助長してはいけません。
- ★青少年の入れ墨(タトゥーを含む)は禁止されています。入れ墨をしたり、させてはいけません。
- ★青少年に児童ポルノ(自分の裸の画像等)を送るよう求める行為は禁止されています。



地域活動に参加しよう

地域との関わり

子どもを育てる上で地域行事やボランティア、学校のPTA活動などへの参加も大切です。

これらの活動を通して、子どもたちの現状や接し方など、様々なことを知ることができます。

また、親子で一緒に参加することで、子どもの社会性や豊かな心を育みます。

水戸市青少年育成推進会議

「あいさつ・声かけ」運動や「地域親」など、様々な活動を通して、青少年の健全育成のために頑張っています。

あなたも一緒に参加してみませんか。



子どものサイン

子どもは言葉に出さなくても、普段の行動や様子などからさまざまなサインを発しています。

サインをいち早く察し子どもと向き合しましょう。

また、家庭だけで問題を抱え込まないで、早い段階で学校や専門機関に相談しましょう。

いじめの早期発見・早期解決

親子の信頼関係を深めることが大切です。

いじめられている場合は、まず、子どもの心を支え安心させ、信頼できる情報を集めて、子どもを守る姿勢を伝えましょう。

いじている場合は、その背景を察して共に考え、悪いことは悪いこととして、毅然とした態度で関わりましょう。

不登校への対応

登校できないでいる気持ちを、子どもの立場で理解し、安心感を抱けるように接しましょう。

SOS サインの例

- 投げやりな態度や乱暴な言葉を使う。
- 生活が不規則になり、家族を避ける。
- 自分の部屋に閉じこもりがちになる。
- 学校での出来事を話すのを嫌がる。
- 調子が悪いなどと言って、登校を嫌がる。
など